

## なぜ三浦半島を選ぶのか ～活断層の上での暮らし～

### 概要

地殻変動による地震や津波のリスクが少ない三浦半島だが、そこに暮らすひと達がいる。天災のリスクを軽減するための防災対策とそれを上回る三浦半島の魅力を分析し、なぜ選ばれるのかを考察する。

### はじめに

今年2024年（令和6）は、元旦の『令和6年能登半島地震』<sup>1</sup>（M7.6）に始まり、8月8日、日向灘の地震活動（M7.1）で初めて、『南海トラフ地震臨時情報』が気象庁より発表され、翌8月9日神奈川県西部の地震活動（M5.3）が発生した。（1）（2）

神奈川には、関東大震災をもたらした大正関東地震の震源域ともいわれている相模トラフがある。

そして、三浦半島には三浦半島断層群がある。（3）

それでも、三浦半島にある葉山町は、大東建託株式会社『賃貸未来研究所』による『街の幸福度&住み続けたい街ランキング2024<神奈川県版>』で街の幸福度（自治体）&住み続けたい街（自治体）ともに1位に輝いた。そして近隣の逗子市や鎌倉市も上位5位までにランクインしている。観光だけでなく、暮らしていきたい場所として、三浦半島エリアが選ばれているのだ。（4）

これは、メリットがデメリットを上回っているのか。

#### ■ 街の幸福度(自治体)ランキングTOP10

順位	昨年	自治体名	偏差値	評点	回答数
1位	1位	三浦郡葉山町	77.1	72.0	178
2位	4位	逗子市	66.1	69.7	376
3位	3位	横浜市青葉区	64.8	69.4	2,388
4位	6位	鎌倉市	63.7	69.1	1,169
5位	2位	横浜市都筑区	62.5	68.9	1,617
6位	16位	中郡大磯町	61.3	68.6	185
7位	-	足柄上郡山北町	61.2	68.6	51
8位	5位	川崎市中原区	60.5	68.5	2,029
9位	8位	川崎市麻生区	59.8	68.3	1,403
10位	7位	藤沢市	57.9	67.9	2,962

詳細はP3

回答者数 66,774名

#### ■ 住み続けたい街(自治体)ランキングTOP10

順位	昨年	自治体名	偏差値	評点	回答数
1位	1位	三浦郡葉山町	75.2	70.1	178
2位	2位	鎌倉市	67.6	66.7	1,169
3位	3位	逗子市	65.2	65.6	376
4位	8位	足柄上郡開成町	64.2	65.1	124
5位	5位	茅ヶ崎市	64.1	65.1	1,636
6位	4位	横浜市西区	64.1	65.1	835
7位	6位	藤沢市	62.1	64.2	2,962
8位	7位	横浜市都筑区	62.0	64.1	1,617
9位	9位	横浜市中区	58.9	62.7	1,104
10位	10位	横浜市金沢区	57.6	62.2	1,495

詳細はP4

回答数 66,742名

図① 出典：大東建託株式会社『賃貸未来研究所』（4）

### 1. 三浦半島の成り立ち

神奈川県は、ユーラシアプレート、北アメリカプレート、フィリピン海プレート、太平洋プレートとプレートがせめぎ合う場所にある。このせめぎ合いにより、神奈川県の豊かな景観が生まれた。そして、城ヶ崎を含む三浦半島は、約1500万年前に南洋で生まれた火山島（のちの丹沢山地）が、フィリピン海プレートに載って北上、約600万年前、本州へ衝突した影響でできたと考えられている。

（5）横浜市金沢区から伸びる三浦丘陵は、逗子市、葉山町、横須賀市の背骨となる、標高200m前

後の丘陵地だ。この丘陵地が侵食され、U字型の谷になった地形、行き止まりの谷のことを谷戸という。この「谷戸」は三浦半島の伝統的な里山の環境を形成し、長い時間をかけて固有の生態系を成立させた。（6）

## 2. 三浦半島の魅力

三浦半島にある横須賀市の魅力について、横須賀市観光情報によると「音楽、スポーツ、サブカルチャー、自然、歴史」にあるとして、HPで動画を入れて紹介している。なかでも「自然」と「歴史」が多く紹介され「企画ガイドツアー」も参加費500円ほどで提供されている。（7）

明治以来の軍港としての役割を、魅力に変え発信しているようだ。また、米海軍横須賀基地による、フレンドシップデーなど、異国情緒にも溢れている。海に面した公園施設も様々あり、週末にはアウトドアを楽しむ人たちも多い。

三浦郡にある葉山町については、財務省関東財務局 横浜財務事務所 経済調査レポートによると『ポストコロナに向けて、葉山町は町役場公式のInstagramと魅力発信・観光サイト「はやまLife」を活用した移住促進施策に取り組んでいる。公式Instagramのフォロワーは3.5万人(2021年4月末時点)と葉山町の総人口(約3.3万人)を超え、各種メディアにも取り上げられ話題となっている』（8）としている。このレポートは3年前のものだが、2024年(令和6)12月現在、葉山町のInstagramのフォロワーは3.8万人と3年前より増えており、人々の興味を引いているようだ。また、リモートワークという働き方も葉山の人気を後押ししているのではないかと。（9）

## 3. 三浦半島のマイナス面

横須賀市の目下の課題は人口減少だ。特に若年女性人口が減少傾向にあり「社会減・自然減対策が必要」とのことだ。（10）また、自然豊かな景観を生み出す、谷戸地区で人口減少が顕著だという。住宅が斜面に密集しているその地理的特徴のために、住宅にアクセスするには階段を使わなければならない、消防車も通行できないことから、火災に対する脆弱性の指摘もあるという。（11）

そして、三浦半島には活断層がある。そこに暮らして地震のことは気にならないのだろうか。



図② 出典：三浦半島と周辺海域の活断層【学芸員自然と歴史のたより】（12）

横須賀市中南部に延びる活断層「北武断層」は、横須賀、三浦両市や葉山町に分布する「三浦半島断層群」を構成する活断層の一つだ。横須賀の野比地区で行われた住宅開発では、北武断層の位置を考慮して断層真上の土地を公園（野比東ノ入公園）とし、宅地への直接的な被害を防ぐ対策が講じられたようだ。（13）言うまでもなく、行政は考えているようだ。



図③ 出典：ニュータウン内の断層上の公園 2008年1月撮影【公文国際学園 米山宏】（14）

一方、そこに住まう人たちはどうだろうか。

疑問に思った私は2024年（令和6）11月10日、横須賀市と三浦市に、活断層の近くで暮らす市民の方たちの思いを知りたいと、それぞれの自治体のHPから問い合わせをした。すると翌日、横須賀市の危機管理課の方から携帯電話に連絡を頂いた。市民一人一人に確認を取ったわけではないので主観ですが、と前置きの上、能登半島地震後の市主催のセミナーでは、以前に比べ参加者も多くなっており、他の市よりも地震に対する危機意識は高いように感じる、とのことだった。

三浦市からは、11月29日にメールで返事を頂いた。以下、抜粋する。

『【三浦半島活断層への三浦市民の思い】についてのご質問ですが、市民の方に「三浦半島活断層についてどう思いますか」というアンケート等を行なったわけではないので、あくまでも防災職員の私感として回答させていただきます。元旦に発生した能登半島地震は断層型の地震であり、三浦半島断層群を擁する三浦市も決して他人事ではなく、防災に関する意識は高くなっていることを市民の方と接する機会に感じます。市民の方が自主的に行う地区での防災訓練や避難所運営委員会なども以前に比較して活発に行われ、防災講話などでも実際の災害を想定した質問が多くなったと感じております。しかしながら、三浦市に被害を及ぼす地震は断層群の地震だけではなく、南海トラフ地震や首都直下型地震などもあり、市民の方々は断層群地震に限らず、「大規模な地震」の発生に高い意識があるとも感じています。災害を恐れるのではなく、しっかりと準備しておくこと、「自助」「共助」が大切であることを市民のみなさまに様々な機会をとらえて周知しております。不十分とは存じますが、回答とさせていただきます。』

どちらの自治体も、突然の不躰な問い合わせに対し、とても真摯に対応してくださり、行政としても防災に対する意識が高いのだなど、非常に感銘を受けた。

## 4. 結論

横須賀市も三浦市も、神奈川県地域防災計画に基づき防災計画がある。(15)

また、神奈川県では「神奈川県地震防災戦略」を策定している。基本的な考え方は、「県民のいのちを守る」ことを最優先に考え、自助・共助・公助が一体となった取り組みを推進する、としている。

(16)

人口減少が顕著だという横須賀の谷戸地区では、横須賀市により、谷戸コミュニティの新しい形づくりのため、地域交流に意欲的なアーティストを誘致し、芸術を通じた地域の活性化を目指し「アーティスト村 (HIRAKU)」の創出に取り組んでいる。(17)

また、神奈川県では「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を掲げ、「観光」と「暮らし」を2大柱とし、「海の魅力」「食の魅力」「地域の魅力」「働く魅力」「住む魅力」の5つの柱で14のプロジェクトに取り組んでいる。そのゴールは「地域の賑わいをつくりだし、仕事と生きがいを創出し、人口減少を食い止める」としている。※期間は2020年(令和2)度～2024年(令和6)度(18)

これら、行政の取り組み、自然豊かな土地のポテンシャル、市民の自主的なコミュニティへの参加が、防災における公助、自助、共助、にもなり、三浦半島を選ぶ理由になるのではないかと。

## まとめ

京浜急行電鉄株式会社(京急)は、2019年(令和1)から「夏詣」キャンペーンを実施している。それは、元日の「初詣」に対し、過ぎた半年の月日に感謝し、来る半年の更なる平穏を願う日本の新たな習慣として、広く守り伝えるべき風習となるよう、京急が取り組んでいるものだ。※2024年(令和6)で6回目(19)内容は、東京の浅草から神奈川の三崎口までを結び、沿線の神社にお参りし、御朱印やグッズがもらえるイベント要素の高いものだが、私の夏の楽しみのひとつになっている。

横須賀の走水神社の近くにある横須賀美術館は、目の前が海、美術館の後ろには三浦層群逗子層の露頭が見える。(20)美術館で作品を鑑賞した後、周辺を散歩するのも、この美術館の楽しみだ。また、葉山町にある神奈川県立近代美術館の周辺も、海と山に囲まれ、景色も楽しめる美術館だ。

自分が住む横浜から1時間弱で行くことができる三浦半島は、私にとって、リフレッシュできるとても魅力的な場所だ。

## 参考文献

※『令和6年能登半島地震』<sup>1</sup> 気象庁が名称を定めたことにより、そのままの表記にした。

地震火山部 管理課

「令和6年1月1日16時10分頃の石川県能登地方の地震について(第2報)」『気象庁』

[https://www.jma.go.jp/jma/press/2401/01b/202401011810\\_2.html](https://www.jma.go.jp/jma/press/2401/01b/202401011810_2.html)

(1) 地震調査研究推進本部事務局 「2024年の主な地震活動の評価」『地震本部』

[https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismicity\\_annual/major\\_act\\_2024/](https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismicity_annual/major_act_2024/)

(2) NHK 防災 「南海トラフ地震臨時情報」 どうとらえた? どう対応すべき? 『NHK 防災』

- <https://www.nhk.or.jp/bousai/articles/32187/>
- (3) 地震調査研究推進本部事務局 「相模トラフ」「三浦半島断層群」『地震本部』  
[https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_kaiko/k\\_sagami/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_kaiko/k_sagami/)  
[https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_katsudanso/f037\\_miura-hanto/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_katsudanso/f037_miura-hanto/)
- (4) 大東建託株式会社「賃貸未来研究所」街の幸福度 自治体ランキング<神奈川県版> 図①  
『いい部屋ネット』 [https://www.eheya.net/sumicoco/2024/ranking/kanagawa/love\\_area.html](https://www.eheya.net/sumicoco/2024/ranking/kanagawa/love_area.html)
- (5) 都道府県研究会『地図で楽しむすごい神奈川』洋泉社 2017年12月11日 P22、23 P5
- (6) NPO 法人 三浦半島生物多様性保全「三浦半島ってどんなところ？」  
[https://mbcn-m.com/hp2/?page\\_id=2474](https://mbcn-m.com/hp2/?page_id=2474)
- (7) 横須賀市観光情報 「まだまだ知らない魅力がある街、横須賀」  
[https://www.cocoyoko.net/about\\_yokosuka/](https://www.cocoyoko.net/about_yokosuka/)
- (8) 財務省関東財務局 横浜財務事務所 経済調査レポート  
山田（財務課）、佐藤（財務課） 渡邊（第5統括）  
『ポストコロナに向けて注目されている移住に関連した自治体の取り組み』  
2021年6月25日 P6
- (9) 神奈川県「ちょこっと田舎な神奈川でテレワーク」『神奈川を使いこなそう』  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/telework-top.html>
- (10) タウンニュース横須賀・三浦版「横須賀市「人口減少」待ったなし」2024年5月17日  
<https://www.townnews.co.jp/0501/2024/05/17/733322.html>
- (11) 空き家ジャーナル「人口減少が著しい横須賀市！「横須賀谷戸計画 2050」とは？」  
2024年4月26日『一般社団法人 東京空き家相談協会』  
<https://tokyo-akiya.info/archives/23896>
- (12) 横須賀市自然・人文博物館「三浦半島と周辺海域の活断層【学芸員自然と歴史のたより】」  
2021.03.02 図②  
<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/nature-history/36433>
- (13) カナロコ「活断層のリスク探る 横須賀・野比海岸で地層観察会」2016年5月9日  
<https://www.kanaloco.jp/news/social/entry-75440.html>
- (14) 公文国際学園 米山宏 横須賀三浦地区 3-4 断層銀座の三浦半島 2008年9月作成 図③  
神奈川県高等学校教科研究会 社会科部会地理分科会  
<http://www.kana-chiri.org/chiiki/kawariyuku/Dansou.html>
- (15) 神奈川県地域防災計画～地震災害対策計画～ 2023年11月 神奈川県防災会議  
横須賀市地域防災計画 地震災害対策計画編 2024年年3月 横須賀市防災会議  
三浦市地域防災計画 地震災害対策計画編 2023年3月 三浦市防災会議
- (16) くらし安全防災局 防災部危機管理防災課  
「県民総ぐるみで地震から身を守ろう！ - 神奈川地震防災戦略 -」『神奈川を使いこなそう』  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/cnt/f534317/index.html>
- (17) 横須賀市 「アーティスト村（HIRAKU）創出事業」『横須賀市』  
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4821/kikaku/artist.html>

- (18) 政策局自治振興部地域政策課 神奈川県 2020年3月  
「三浦半島魅力最大化プロジェクト～資源を生かした地域の活性化戦略～」
- (19) 京浜急行電鉄株式会社「京急夏詣キャンペーン2024」2024年6月26日  
[https://www.keikyu.co.jp/company/news/2024/20240626HP\\_24035TE.html](https://www.keikyu.co.jp/company/news/2024/20240626HP_24035TE.html)
- (20) 神奈川県立生命の星・地球博物館 『かながわの自然図鑑① 新版 岩石・鉱物・地層』  
有隣堂 2016年3月1日 新版第1刷 P72

※WEB 最終閲覧日：2024年12月21日